



チャレンジ ふくしま フォーラム in 熊本

2011年の東日本大震災・原子力災害からまもなく14年。福島県は様々な課題に取り組みながら、復興の歩みを着実に前に進めています。このたび、これまでいただいたご支援に対する感謝の思いとともに、熊本県と同じく「創造的復興」に向けてチャレンジする姿や、福島県の食や観光などの魅力をお伝えする「チャレンジふくしまフォーラム」を熊本で開催します。この機会に、是非お越しください。

2024
11/21 木

開場・受付開始 12:30
開会 13:30

熊本ホテルキャッスル

- 熊本市中央区城東町4-2
- 基調講演・パネルディスカッション／2階 キャッスルホール
- 交流会／地下1階クリスタルホール

対象
熊本県を中心とした九州地方の企業・団体・学校・自治体関係者の皆様

参加無料 [定員150名]



主催 / **福島県**

後援 / 熊本県、熊本市、熊本商工会議所、熊本県商工会連合会、熊本経済同友会、熊本県中小企業団体中央会、熊本国際観光コンベンション協会、KKT熊本県民テレビ

第1部

基調講演 13:30~14:00
「FUKUSHIMA」の未来(仮)
福島県知事 内堀雅雄



第2部

パネルディスカッション 14:10~15:00
「新産業とつくる創造的復興」
※敬称略。※プログラム及び出演者は予告なく変更となる場合があります。



第3部

交流会 15:15~16:15
福島県産の食材を使ったお料理と自慢の日本酒をご用意します。(立食形式)



福島県特設ブースで日本酒やお菓子、加工食品の販売も予定しています。



参加申込方法

申し込み締め切り

参加ご希望の方は、下記の申込フォームより氏名、電話番号、メールアドレス、所属する企業・団体名の名称・所在地・部署名・役職・業種・交流会参加希望の有無を、ご記入の上、お申し込みください。

2024 **11/1** 金

- ◎申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。(定員150名)
- ◎当選者のみ、ご登録いただいたメールアドレスに、当選通知メールをお送りします。(11月中旬予定)
- ◎当日、受付にて当選通知メールをご掲示の上、ご入場ください。
- ◎37.5度以上の発熱、咳などの症状のある方は入場をご遠慮ください。

交流会では20歳以上の方に福島県産のお酒を提供します。試飲をご希望の方は公共交通機関をご利用ください。

申し込み 右記のURLまたは二次元コードよりアクセスし、申込フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

チャレンジふくしまフォーラムin熊本

<https://fukushima-kumamoto.jp/>



アクセス

JR熊本駅より市電で
 通町筋電停まで約20分
 通町筋電停より現地まで徒歩で約3分
 会場／熊本ホテルキャッスル
 住所／熊本市中央区城東町4-2
 ※お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

「チャレンジふくしまフォーラムin熊本」事務局
☎ 092-715-4354
 [平日10:00~17:00]
 ※応募者の個人情報は、本イベント運営のためにのみ、福島県と事務局が管理・共同利用します。

パネリスト (敬称略)

司会



熊本県菊陽町長
 よしもと たかとし
吉本孝寿
 熊本県菊陽町出身。九州東海大学卒業後、就農し、ぶどうの観光農園を経営。町議会議員2期を経て、2022年の町長選で初当選した。半導体受託製造の台湾積体回路製造 (TSMC) 進出で変化する古里について、「様々な可能性を持ち、日本一のまちづくりを目指すことができる町になった」と語る。



熊本大学
 半導体・デジタル研究教育機構 教授
 こうだ よしこ
合田美子
 東京都台東区出身。専門は教育工学。東京学芸大学大学院を経て、米フロリダ工科大学大学院で科学教育の博士課程を修了。米国では教育テクノロジーコーディネーターとして活動した。教授を務める半導体・デジタル研究教育機構は、数理・データサイエンス・AI教育を推進し、半導体・DX人材を育成している。



福島国際研究教育機構 (F-REI) 理事長
 やまざき こうえつ
山崎光悦
 富山県小矢部市出身。金沢大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士 (大阪大学)。金沢大学学長などを歴任し、2023年4月、F-REI (エフレイ) 理事長に就任した。「日本の科学技術をけん引し、世界に冠たる『創造的復興の中核拠点』を目指す」と、エフレイの将来像を思い描く。



㈱福島しろはとファーム 農園副本部長
 なさき めい
瀧澤芽衣
 神奈川県相模原市出身。熊本在住の祖母との農作業が原体験となり、明治大学農学部に進学した。2015年、白ハトグループに入社。農業を中心としたイベントに関わり、福島県楡葉町移住後はサツマイモの生産、農家への苗の販売などに取り組む。モットーは「日本の農業をステキにしよう!」。2児の母。



KKT熊本県民テレビ 「news every.<まもと」メインキャスター
 おがた たろう
緒方太郎
 山形県天童市出身。2009年、福島中央テレビにアナウンサーとして入社。福島第一原発事故発生直後から10年以上、現場取材を続けた。熊本地震の取材が縁となり、熊本に移住。24年4月から「夕方の顔」として、創造的復興を進める熊本の今を伝えている。モットーは「自らの言葉で伝える」。